

# 福知山市水道事業等における 包括的民間委託の概要

京都府 福知山市 上下水道部

# 福知山市水道事業の概要

## □ 創設認可

昭和6年11月

## □ 給水開始

昭和8年4月

## □ 平成30年度末状況

管路総延長                    1, 079km

計画給水人口                79, 330人

給水人口                      77, 468人

計画1日最大給水量        38, 500m<sup>3</sup>

普及率                         99. 7%

給水戸数                      35, 018戸

# 包括的民間委託の実施に至る背景①

- 1 公営企業は、独立採算制が基本原則
- 2 国の方針は、他の事業主体との連携や民間のノウハウの活用を推進
- 3 人口減少と節水型社会の到来による料金収入の減少
- 4 平成29年の料金改定に関わり「福知山市上下水道事業経営検討委員会」で、市も自ら経営改革を行うべきとの意見

## ◎市の取り組むべきこと(経営戦略)

- 1 安心・安全で快適な暮らしを届ける
- 2 強靱で安定した上下水道を構築する
- 3 健全な経営を維持する



適正な上下水道料金の設定、組織統合、業務の民間委託推進と事業の広域連携の推進

## 包括的民間委託の実施に至る背景②

年度	月 日	内 容
平成26年度	8月29日	総務省「公営企業の経営に当たっての留意事項について」
平成27年度	7月29日	福知山市上下水道事業経営検討委員会(第1回)
	~	
	2月17日	福知山市上下水道事業経営検討委員会(第7回)
平成28年度	8月26日	産業建設委員会で「経営検討委員会まとめ」「福知山市上下水道事業の経営について」説明。
	9月1日	全議員協議会で「経営検討委員会まとめ」「福知山市上下水道事業の経営について」説明。ホームページに掲載
	9月17日~21日	「福知山市上下水道事業の安定経営と基本方針について」と題して市民説明会を開催。(5地域、5回) 資料「経営検討委員会まとめ」「福知山市上下水道事業の経営について」
	9月8日、10月31日、11月11日	産業建設委員会で料金改定関連について説明
	11月17日	全議員協議会で料金改定関連について説明
	12月26日	12月市議会定例会において料金改定議案上程・可決
	2月	「経営戦略」策定
	3月8日	「経営戦略」を産業建設委員会で説明、全議員に配布、ホームページで公開
平成29年度	7月1日	料金改定施行
	12月25日	12月議会において上下水道事業業務拡大支援業務・債務負担補正予算上程・可決
	2月21日	上下水道事業業務拡大支援業務契約・支援業務開始 (平成30年12月まで)

## 包括的民間委託の実施に至る背景③

年度	月 日	内 容
平成30年度	6月	20日から21日の予算審査委員会で説明したが継続審議となる。
	7月から8月まで	予算審査委員会(2回)・産業建設委員会(1回)で説明を行う。
	9月3日	決議とともに予算が可決された。
	9月14日	プロポーザルの募集公示を行う
	10月から2月まで	産業建設委員会で説明を行う。(4回)
	11月5日	プロポーザル選定委員会を実施する。(外部有識者3人) 11月9日に結果発表 2者からの応募があり。
	11月30日	契約の締結を行う。
	12月1日	引継ぎ業務開始する。(平成31年3月31日まで)
平成31年度	4月1日	福知山市上水道事業等包括的民間委託開始及び業務開始式を実施する。

## 「福知山市上下水道事業等の包括的民間委託に関する決議」

- 1 包括的民間委託後も、地元民間事業者との「災害協定」を継続させるとともに危機管理体制を確立すること。
- 2 モニタリング制度を確立し、強化・充実を図るとともに、その内容を市民・議会に公表すること。
- 3 委託業者を決定する場合、市内の地元業者に一定の配慮を行うとともに、育成に努めること。
- 4 福知山市は包括的民間委託後も、「公共性」「安全性」「継続性」を担保するとともに、上下水道事業に対して責任をもって管理運営にあたること。
- 5 包括的民間委託によって、経済効率性の実現に努めるとともに、品質維持向上を図ること。
- 6 専門技術職員を確保・育成するとともに、関係職員の雇用の安定をはかること。

# 市会、信頼性や効果疑問

## 採決見送り、継続審査へ

福知山市が本年度から、府内の自治体では初めて、上水や下水道の水道事業を営む民間企業に委託する計画を進めている。厳しい財政状況が響く中での経営削減が懸念され、市は民間委託の信頼性や、民間委託の効果を疑問視する声が出た。市議会の採決は見送られ、市評議会の見直しを迫られている。

# 水道の民間委託計画 福知山市が



民間への委託対象となる上下水道などの窓口業務（福知山市堀・市上下水道部）

水道事業は、人口減少による水料金の収入の減少や施設の老朽化などが、民間委託を進める自治体が増えている。福知山市ではこれまで、休日・夜間の窓口対応や料金徴収など計16業務について、個別に複数の民間企業に委託し、昨年7月には料金の値上げを決定して、事業の効率化や財政の健全化を図ってきた。

今回の計画では、上下水道や廃棄物・資源物の回収など計15業務について、プロポーザル方式で選定した民間企業が、人口減少による水料金の収入の減少や施設の老朽化などが、民間委託を進める自治体が増えている。福知山市ではこれまで、休日・夜間の窓口対応や料金徴収など計16業務について、個別に複数の民間企業に委託し、昨年7月には料金の値上げを決定して、事業の効率化や財政の健全化を図ってきた。

（井上真由）

「一社に委託契約を結ぶ。新たな委託先として、平口の窓口対応も水道施設維持管理などの業務を追加。水道法が定める水質検査や基礎施設の新築、財務関係は対象外とする。委託期間は10～20年度で、委託費は計約億円。業者の一本化も職員数の縮小などで、1割のコスト削減を目標とする」。

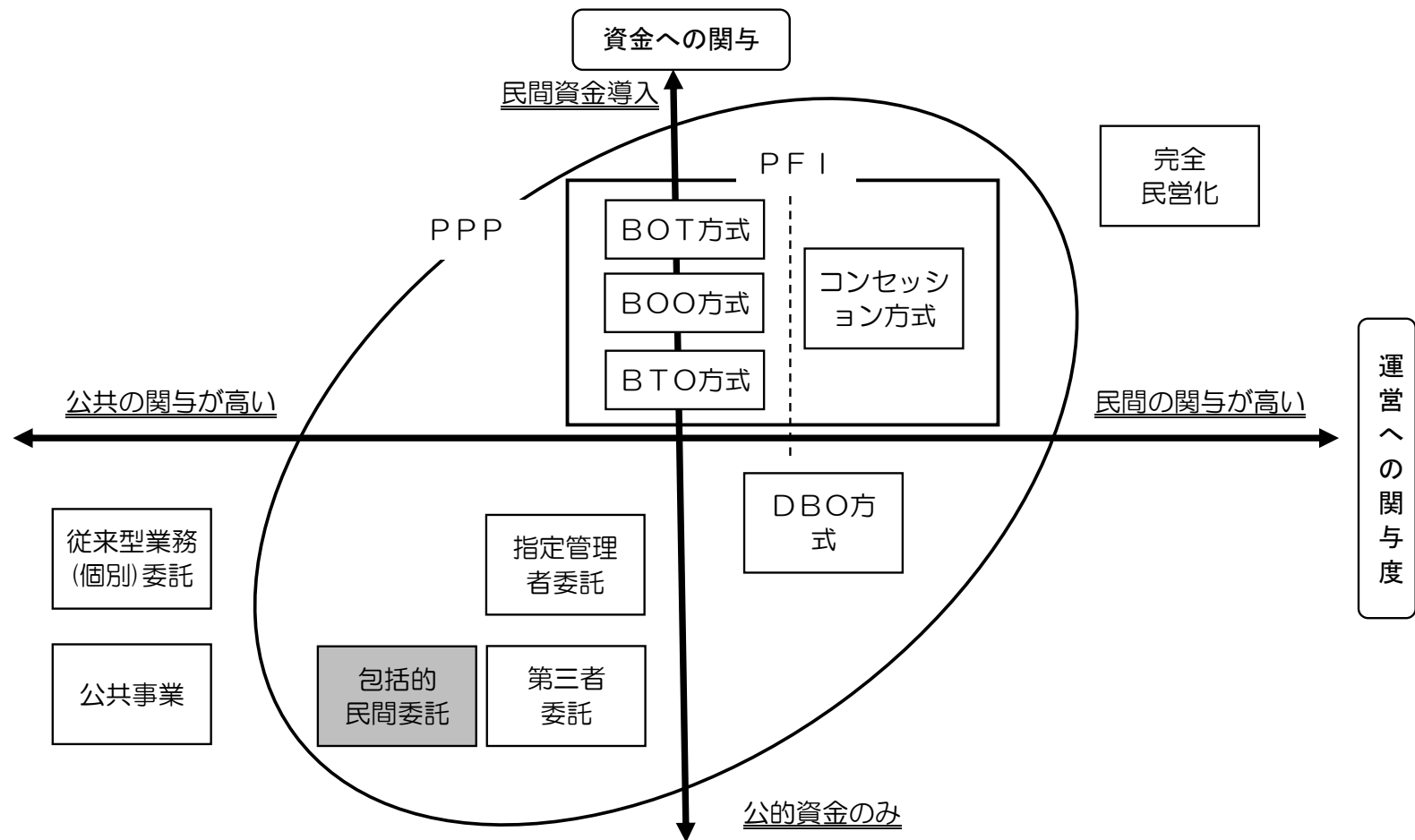
市評議会の採決は、6月議会の補正予算案として通過する。議案を上げ、21日の市議会委員会で採決が行われるが、議員からは、委託費用とコスト削減効果の算定根拠、職員の処遇、市民生活への影響などに懸念が相次いだ。民間委託の効果を疑問視する声も多く、継続審査が決定された。

採決の見送りをきっかけ、市は当初は7月の事業開始を予定していた計画を遅らせる。計画の見直しを進める。市上下水道部は「市民生活と環境の向上につながる事業だとして、経営削減も市民サービスの向上を促したい」としている。

新聞記事

# 包括的民間委託とは？①

図1：公民連携（PPP≪Public-Private-Partnership≫）の手法（イメージ図）



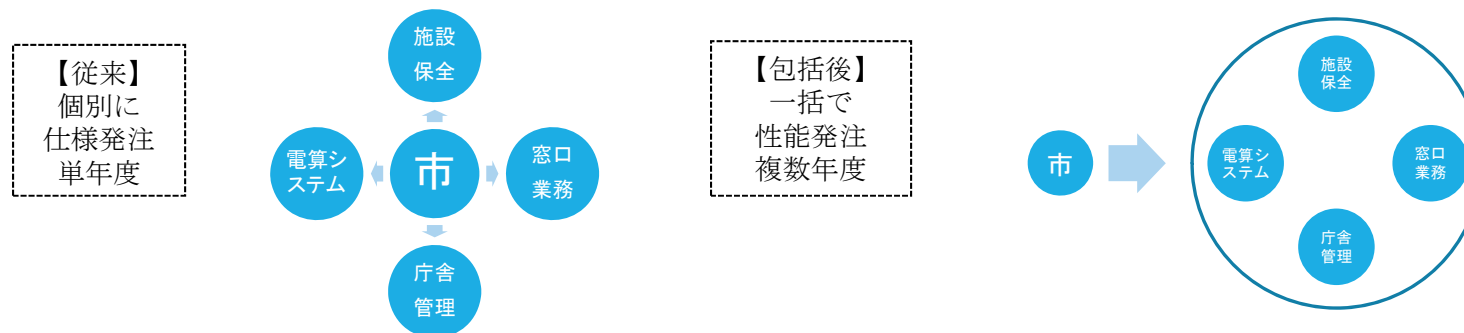


## 包括的民間委託とは？②

(定義)

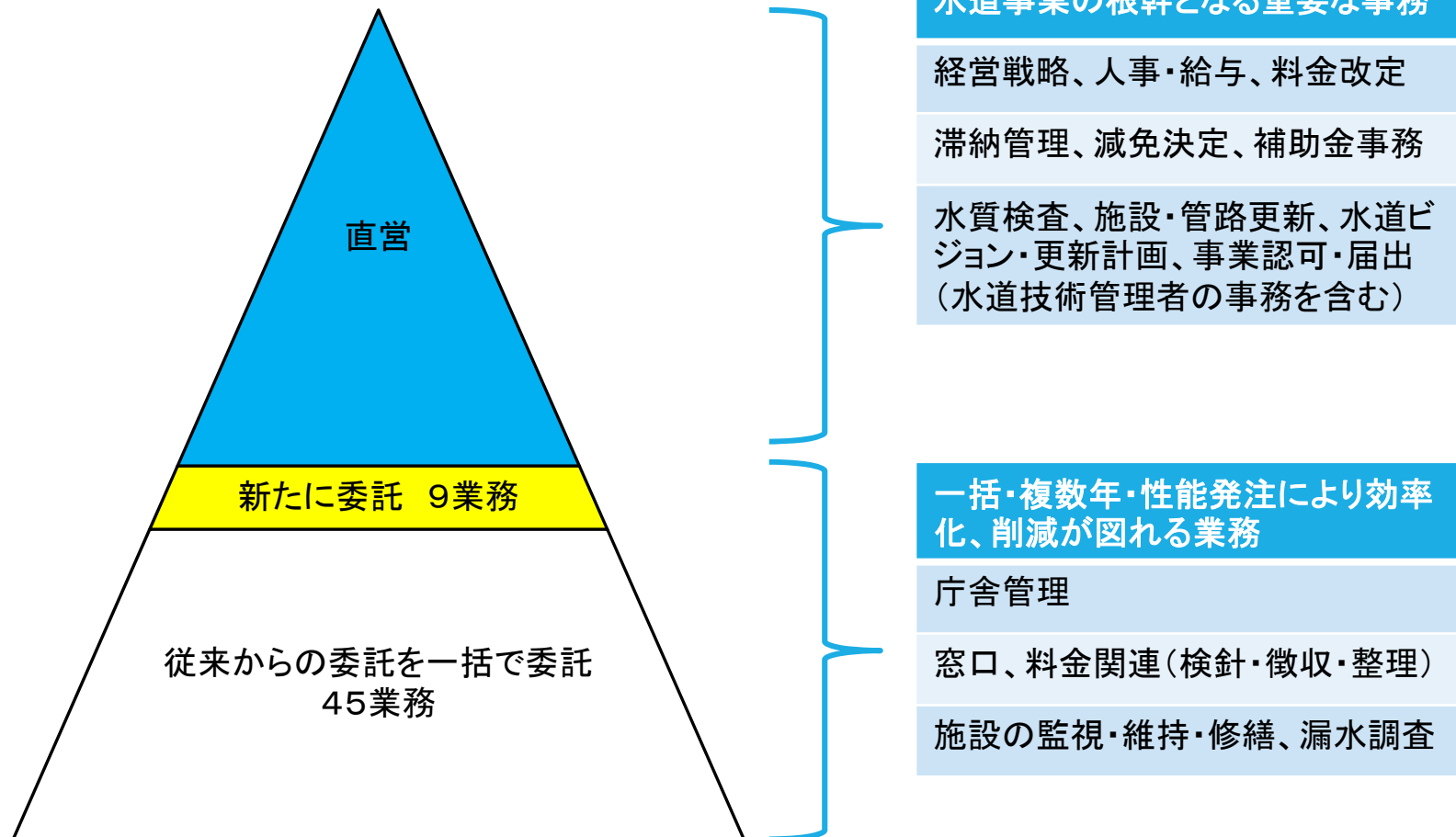
包括的民間委託は、複数の業務を一括して、複数年にわたり性能発注で行なうこととされています。今回、従来から委託してきた45業務に新たに9業務を加え、一括して5年間の委託を行ないます。

※性能発注とは、細かく仕様を設定するのではなく、到達すべき水準を示し、民間の創意工夫を活かす発注方式です。



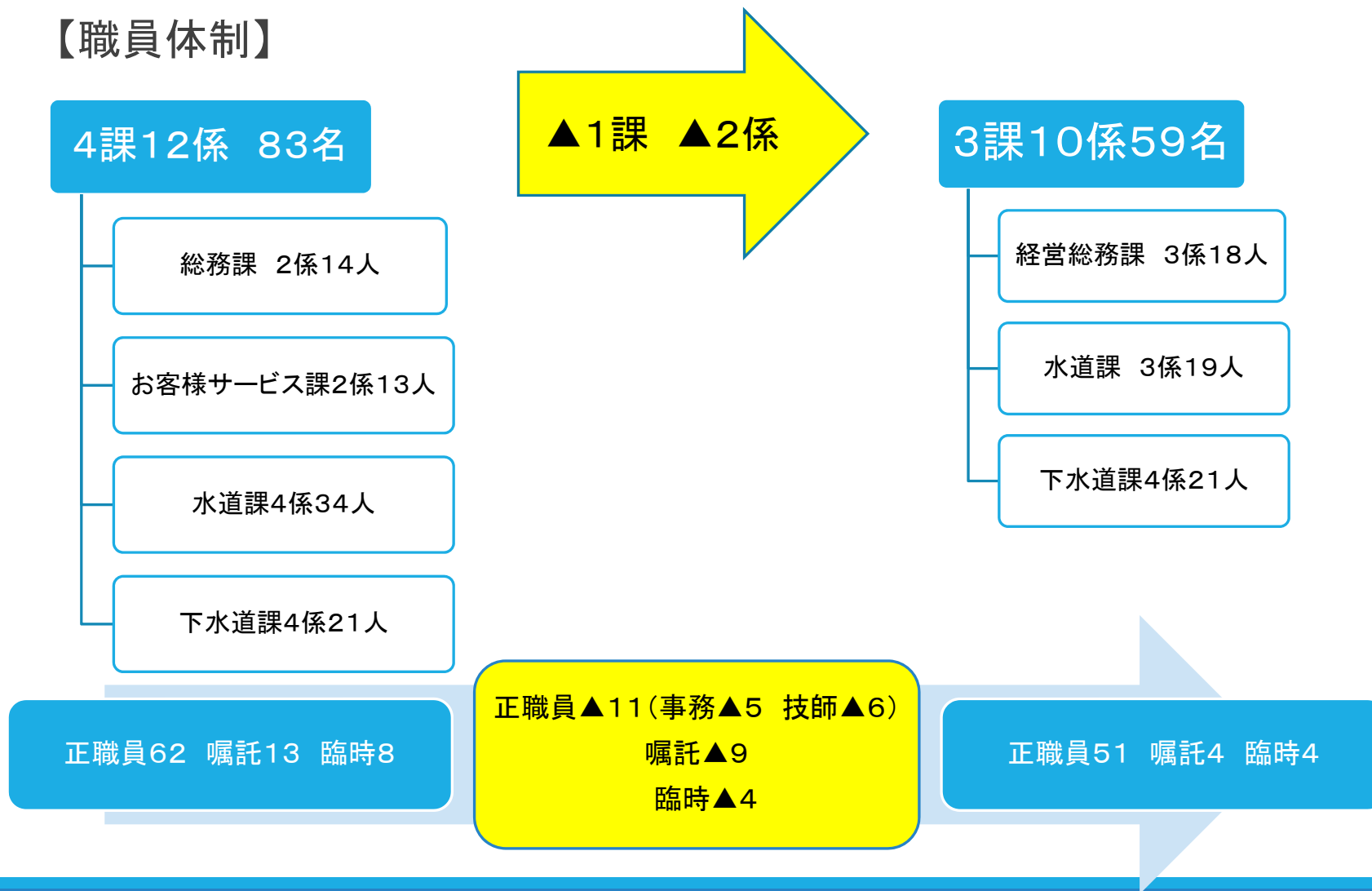
# 包括的民間委託の委託後のイメージ

## 【委託後の業務】



# 包括的民間委託の委託前と委託後のイメージ

## 【職員体制】



# 包括的民間委託による期待できるメリット

## 1 市民サービスの向上

- ・電話受付等の一元化(ワンストップサービス)

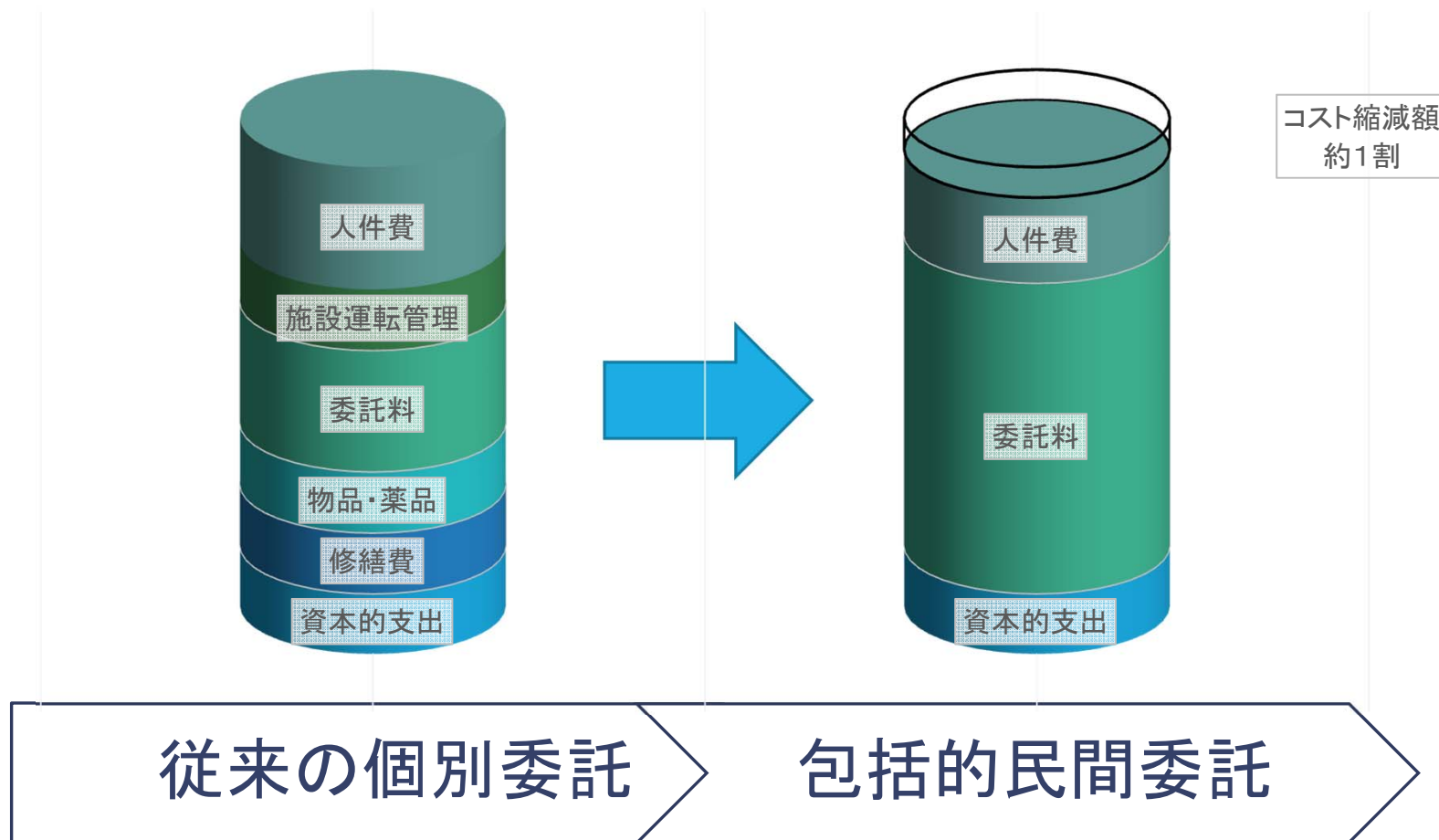
## 2 民間企業の専門性の高いノウハウの導入

- ・民間の創意工夫による効率性の高い業務を導入

## 3 経費の削減

- ・包括的発注による経費の削減及び業務の効率化による削減

# 包括的民間委託によるコスト縮減イメージ



# 包括的民間委託への移行

- 1 継続可能な仕組み
  - ・委託業者の経営状況の把握
- 2 安心・安全な水道の確保
  - ・水道事業管理者 (事業経営全般)
  - ・水道技術管理者 (施設及び水質の監督)
  - ・各業務の管理 (水質検査、日常管理の監督など)
- 3 事故災害時の対応
  - ・事故・災害時の対応

# 受託者の選択方法

## 1 公募型プロポーザル方式の採用

- ・福知山市公募型プロポーザル方式ガイドラインによる

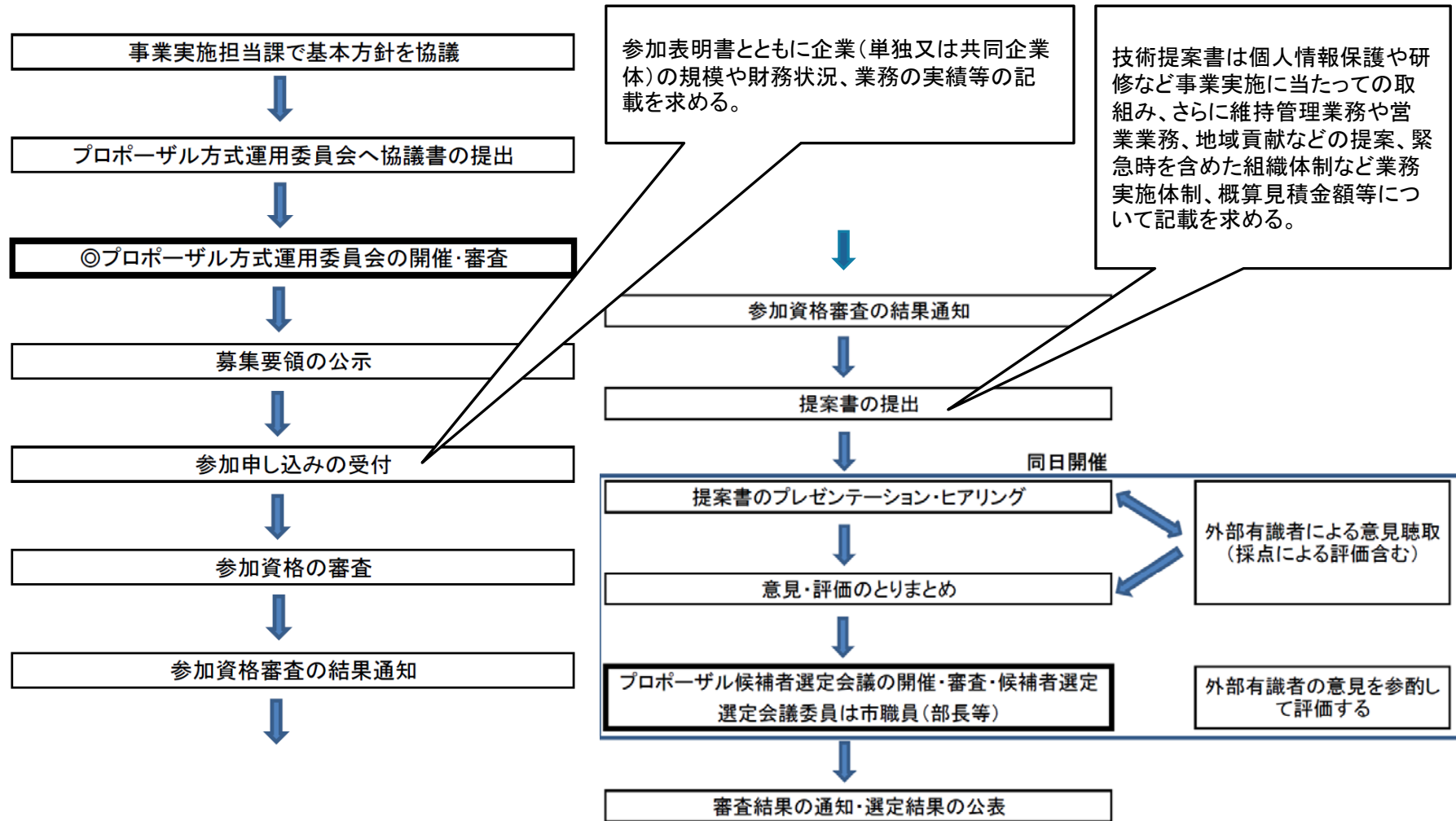
## 2 公募型プロポーザル方式による選定要領は

- ・プロポーザル方式 概念図のとおり

## 3 地元業者との関係は

- ・参入は可能

# 公募型プロポーザル方式の概念図





## 苦勞したこと

- 1 議会对応
- 2 要求水準書の作り込み
- 3 地元業者との関係性の存続
- 4 事業実施後のモニタリングの方法